

うみない

山武市立蓮沼小学校
令和5年度 学校だより
第 17 号
令和6年1月30日発行



【学校教育目標】よく遊び・よく学ぶ はすぬまっ子
【めざす児童像】よく考え進んで学ぶ子ども（知）
心豊かで思いやりのある子ども（徳）
元気でたくましい子ども（体）



御協力ありがとうございました

インフルエンザ拡大により延期となった、「蓮小フェスティバル」が、1月25日に行われました。この日が来るのを心待ちにしていた子も多いようでした。

今までのバザーから形を変えての実施になるということで、「うまくいくだろうか」と不安に感じるところがありましたが、様々なアトラクションを楽しく行っている子ども達の姿を見ることができ、とても安心しました。蓮小フェスティバルが終わった翌日には、「次はいつ蓮小フェスティバルやるの?」「また早くやりたいなあ」というような声も子ども達から聞かれました。延期とはなってしまいましたが、子ども達にとって、思い出に残る楽しい時間となったようです。

今回の実施にあたり、何度も集まり当日に向け計画・準備をしてくださったPTA本部役員の皆様、当日、準備から後片付けまで運営にあたってくださったPTA役員の皆様、各家庭でお小遣い等の準備をしてくださった保護者の皆様、御協力ありがとうございました。

次年度以降については、今回の反省をもとに、次年度の本部役員と話を進めていきたいと思います。



【投力向上を目指し】

保護者の方も、ニュース等で御存知かと思いますが、本校にも大谷翔平選手からのグローブが届きました。16日には、全校の前で、校長先生から大谷翔平選手のメッセージが読まれたり、代表の6年生にグローブが贈呈されたりしました。贈呈される様子を見て、嬉しそうな顔をする子、羨ましそうに見つめる子など、様々な表情が見られました。現在、寄贈されたグローブは、職員室で管理をし、使用したい子が職員室へ借りに来ることになっており、休み時間になると、グローブを使いキャッチボールをする姿が見られます。



また、24日には、千葉ロッテマリーンズのコーチが来校し、4～6年生にボールの捕り方や投げ方等を教えていただきました。コーチの方からは、「蓮沼小の子は、けっこうボールを（遠くまで）投げられますねえ。」といった言葉もいただきました。

運動能力テスト等から、子ども達の投力が落ちていることが以前から言われています。蓮沼小もその傾向にあります。今回のグローブの贈呈や千葉ロッテマリーンズの方々から教えていただいたことをもとに、少しでも子ども達の投力が向上することを期待したいと思います。

御家庭でも、時間がある時に、お子さんとキャッチボールをしてみてください。

なお、保護者の方で、贈呈されたグローブを実物を見たい、触ってみたい方がいらっしゃいましたら、来校された際に、職員室にお声かけください。

【グローブの贈呈】



【千葉ロッテマリーンズ来校】



※今回、千葉ロッテマリーンズは、「ちば夢チャレンジかなえ隊」という事業で来校されました。この事業は、広く子どもたちにスポーツの楽しさや喜びを体験させることが目的で、県内トップ・プロスポーツ団体に所属する選手やOB、コーチ等が講師として小中学校、特別支援学校小学部及び中学部へ派遣され、体育・スポーツ活動での交流を行っています。